

なかよしタイム

仲間づくり（乳児）編

2023年10月23日

《ひよこ組》

0歳児クラスでは、友だちの持っているおもちゃを取られそうになったり、押されたりした時に、ジェスチャー（手振り）をつけて“やーめーてー”と相手の友だちに自分の気持ちを伝えることが出来るように、みんなで集まって話をしながら子ども達と一緒にやってみました。

普段の生活の中でも、“やーめーてー”を使って声をかけているひよこ組。もう覚えた子もいて、担任の先生と一緒に上手にしている姿が見られました。



子ども達も、劇の真似っこをして「かーしーてー」「まってねー」と、やりとりしてみましたよ。

《りす組》

1歳児クラスは、おもちゃを取り合う姿があったので、「かーしーてー」「まってね」というやりとりで、自分の気持ちや思いを友だちに伝える練習をしました。今回は、先生達が短い劇（やりとり）をして、子ども達に伝えました。

〇〇〇先生が持っているバスのおもちゃを、〇〇先生が「かーしーてー」と言いながら両手を重ねるジェスチャーをします。〇〇先生が「まってねー」と言いながらあごの下に手の甲を当てるジェスチャーで伝え、〇〇先生が待ち、しばらく使ってから〇〇先生がおもちゃを渡すと、とっても嬉しそうにおもちゃであそびだす〇〇先生。

この劇をじーっと真剣な顔で見ていた子ども達は、〇〇先生が嬉しそうにバスのおもちゃであそびだすと、ほっとしたようにニッコリ笑う姿が見られました。もしかしたら、先生達が“けんかになる？”と、心配していたのかもしれないね。



《うさぎ組》2歳児クラスでは、手洗いの時にもめる姿があります。別の場面を例にして「順番」について、先生達が劇をして子ども達に伝えました。

〇〇先生が台の上を登って歩こうとすると、〇〇先生が抜かそうとして押します。〇〇先生が「じゅんばんこ」と〇〇先生に言います。すると、〇〇先生も「じゅんばんこ？じゅんばんこ、やね」と少し待ち、〇〇先生の後を歩きだしました。

劇を、真剣な顔でよく見ていた子ども達。見た後で、子ども達も劇のようにしている姿がありました。今回は子どもたちが親しみやすい様に「じゅんばんこ」という言い方にしました。日々の生活の中でも「じゅんばんこ」と、子ども達と合言葉のようにして使いながら、その意味を覚えて行動とつながっていくといいなあと思います。



先生達の劇を、真剣に見ていたうさぎ組の子ども達でした。

子ども達も、してみましたよ。



0歳・1歳・2歳の子どもにも、当たり前ですが、その時その場面に子どもの気持ちがしっかりとあって、腹が立つことや悲しくなることがあります。その時に、自分の気持ち（思い）を相手や周りの友だち・大人にジェスチャーや言葉で伝えることが出来るようになったらいいなあ～、そして、相手や周りの友だちも、その友だちの気持ちに気付けるようになったらいいなあ～と思います。